

平成 23 年度 環境教育関連事業の実施状況

環境教育を進める取り組みの柱

札幌市環境教育基本方針で定めた 4 つの取り組みの柱

人材の育成	情報の共有・活用
プログラムの作成	機会づくり・場づくり

(1) 人材の育成

札幌市教育センターにおける研修

札幌市教育センターでは、札幌市の学校教育に携わる教職員の資質向上と専門的な力量を高めることを目的にした研修を実施しており、その研修の中で「教育課題研修コース（環境教育 ～）」や「初任者研修（環境教育の基礎）」といった、環境教育に関する専門的研修コースを設け、学校における環境教育の実践を推進するための教員研修を実施しています。

平成 23 年度は、以下の研修において、「環境教育の実践事例集」が活用されました。

- ・ 初任者研修
- ・ 10 年経験者研修
- ・ 専門研修

環境教育リーダー・環境保全アドバイザー派遣 (<http://www.kankyo.sl-plaza.jp/material/>)

「総合的な学習の時間」や市民の環境に関する学習会などへの助言や解説等を行う人材を派遣する「環境教育リーダー制度」と、「環境全般」、「都市と環境」、「消費生活と環境」、「水辺の環境」、「自然観察・自然保護」、「アイヌ文化と環境」、「外国の環境保全」、「環境教育」の 8 つの分野の専門家を、市民の観察会や学習会等に派遣する「環境保全アドバイザー制度」を実施しています。

< 派遣実績（件数） >

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
環境教育リーダー (登録者数 40 人)	19 件 (1220 人)	44 件 (2311 人)	37 件 (2087 人)	49 件 (1822 人)
環境保全アドバイザー (登録者数 20 人)	39 件 (2780 人)	26 件 (2024 人)	55 件 (2415 人)	22 件 (1871 人)

平成 23 年度は 9 月末現在

札幌市環境プラザにおけるリーダー育成

(1) 市民講座の開催

子ども活動団体などの指導者の方を対象にした「イベント企画者のための体験講座」などリーダー育成のための各種講座等を実施しています。

(2) こどもエコクラブ

昨年度より環境プラザがこどもエコクラブを設立して活動を行なっています。子どもたちが、さまざまな場において環境リーダーとなって活躍することを目指します。

環境に関する学習活動・研究実践校（モデル5校）

環境をテーマにした先進的な取組（例：評価に位置づけた環境をテーマにした学習活動、地域の環境を活用した学校独自の特色を生かした学習活動、児童会・生徒会・地域の保護者を活用した学習活動等）を各モデル校が実践研究を行い、その成果を各学校に普及啓発していきます。

エネルギーに関する環境教育の推進

学校においてエネルギーや CO2 について、学び考え体感することができる設備整備を行います（平成 23 年度：1 校）。この設備を活用し、子どもたちのエネルギーに関する意識を醸成し、自発的に行動できる人材を育成することを目的としています。

さらに、今後、学校を拠点として、子どもたちから家庭へ、また、学校との連携により地域へ、省エネ意識・省エネ行動等、環境配慮行動の波及につなげることを目指しています。

現在、設備整備後（平成 24 年度以降）の具体的活用に向け、検討を進めています。

（2）情報の共有・活用

環境プラザホームページ

（<http://www.kankyo.sl-plaza.jp/>）

ブログで積極的に情報を提供するなど、環境プラザホームページを利用して情報提供を行っています。今後も引き続き、ホームページの特性を生かして、最新情報の掲載、ブログの積極的な更新を行うとともに、こども用ホームページのリニューアルを行う予定です。

かんきょう元気新聞・元気通信

（http://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/wall_paper/）

子どもたちにとって環境に関する身近な情報を分かりやすく掲載することで「気づき」と「行動」を促すため「かんきょう元気新聞」を発行しています。

平成 23 年度は、配布対象を、これまでの小学 4 年生～6 年生から、小学校の全学年と中学生に拡大し、夏と冬の 2 回の発行を予定しています。7 月には、第 8 号（夏号）を市内の小中学校の全クラスに配布しました。第 9 号（冬号）は 12 月に発行予定です。

今年度は、札幌市の取組を、より身近なものとして受けとめ周囲への環境活動の輪が広がることを期待し、この「かんきょう元気新聞」に、「かんきょう元気通信」として市長メッセージを掲載しています。

環境教育関連施設連携事業の実施

市内の環境関連施設の施設担当者から成るプロジェクト会議において、環境プラザを中心として施設間の連携を進め、情報を共有・活用していくとともに、より効果的な環境教育を行うための事業について検討しています。

平成 23 年 3 月末に「みんなでおでかけポケットブック」を作成し各施設で活用しています。

今後は、この作成効果などの検証を行うとともに、各施設における環境学習講座の実施状況などの情報共有を行います。

また、平成 23 年度は下記の連携事業を行なっています。

- (1) 森の中で大発見！親子バスツアー（環境プラザ - 北方自然教育園 定山溪自然の村）
- (2) 秋のエコ教室：親子でまるごと鮭体験（札幌市豊平川サケ科学館 札幌市環境プラザ）

環境教育関連施策・事業一覧（平成 23 年度版）の作成

(http://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/project/)

環境教育関連施策の進行状況や今後の方向性を示すとともに、札幌市の各部局で行われている環境教育に係る事業について取りまとめる予定です。（平成 22 年度版はホームページにおける公開）

(3) プログラムの作成

総合的環境副教材・教員用手引書

小学生を対象に配布している「札幌市総合的環境副教材」を平成 24 年度版の配布に向けて、改訂内容の検討を進めています。

この「札幌市総合的環境副教材」は「教育課程編成の手引き」（札幌市教育委員会作成）に使用教材として引用されており、一層の授業における効果的な活用を目指して、今年度は、「札幌市総合的環境副教材」の改訂とともに、環境教員用手引書の内容の見直しや充実を図ることに重点を置きます。

環境プラザにおける学習プログラムの作成

環境プラザの環境教育教材を活用した学習プログラムの作成について検討を進めています。環境プラザが実施する事業に加え、中学校の授業における活用方法について検討しています。

(4) 機会づくり・場づくり

さっぽろっこ環境ウィーク・環境フェスティバル

市立幼稚園・学校において、環境に関する活動の一層の充実を図ることを目的として、全ての市立幼稚園・学校において環境に関する取り組みを「エコアクション」として一定期間、重点的に行う「さっぽろっこ環境ウィーク」を実施しました（6月20日～7月1日）。

各幼稚園・学校でのエコアクションの取組については、教育委員会のホームページに掲載しております。また、市立幼稚園・学校に環境局みどりの推進課から苗木を配付し、各幼稚園・学校において記念植樹として校地内に植樹しました。

さらに、6月26日には「さっぽろっこ環境フェスティバル」を開催し、環境活動の発表会などを行いました。

以上二つの取組を通して、札幌らしい特色のある学校教育のテーマ「未来の札幌を見つめる【環境】」で目指す環境を守り育てようとする日常活動に取り組んでいく機会づくりを行いました。

校外学習用バス貸出

(http://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/bus-rent/)

環境に関する体験学習の場を提供することを目的に、平成 19 年度から小学校を対象に環境教育

に関する校外学習用バスの貸出事業を行っています。今年度は、129校の応募があり、そのうち70校で実施する予定です。

応募校数と採用校 ・校数はのべ数/()内は実施校 ・バス利用台数はのべ数/()内はCNGバス

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度(予定)
応募校数	71校	77校	71校	107校	129校
利用校数	43校(42校)	54校(52校)	69校(66校)	88校(77校)	70校(68校)
バス利用台数	94台(0台)	115台(23台)	152台(19台)	184台(0台)	155台

校外学習の見学先や学習内容、エコライフレポートへの取り組み率などを考慮し、環境局・教育委員会で採用校を決定

主な見学先(H22年度実績)

施設	利用校数(のべ数)
水道記念館(藻岩浄水場含む)	34
白石清掃工場	19
中沼リサイクル団地	16
定山溪ダム(資料館含む)	15
下水道科学館	15
駒岡清掃工場	9
サッポロピリカコタン	7
発寒清掃工場	7
モエレ沼公園	6
創成川水処理センター	5

環境教育へのクリック募金

(<https://www.kankyo.sl-plaza.jp/bokin/>)

インターネットを活用した環境教育への支援制度として、環境プラザのホームページに「環境教育へのクリック募金」サイトを平成17年5月から設けています。

この制度は、環境保全活動に取り組む企業から寄附を募り、札幌の子どもたちのための環境教育資金とする企業の社会貢献活動の仕組みです。

平成23年度は、26の小中学校に、小型光電池や手回し発電機などの環境教育教材を寄贈しました。(現在の協力企業は8社)

環境プラザにおける総合学習支援等

(<http://www.kankyo.sl-plaza.jp/>)

環境教育リーダーの派遣や環境プラザの展示物を活用し、小中学校の総合学習の時間における学習の支援を進めています。

また、「環境プラザがやってきた」では、さまざまな環境イベントにおいて、体験学習を行っています。

さらに、環境に関する講演会や市民活動団体と連携した事業を各種実施しています。

かんきょうみらいカップ 2011

(http://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/mirai_cup/)

フットサルなどのスポーツ・レクリエーションを通じて、環境活動に楽しく取り組んでもらうことを目的として「かんきょうみらいカップ 2011」を開催しました。

(7月27日(水)札幌サッカーアミューズメントパーク)

フットサルや環境クイズ、ECO リレーのほか、参加した子ども達が、環境について体験したこと、今取り組んでいることを「環境体験・活動カード」に記載することにより、環境への意識を高め、自主的な行動へとつなぐ機会としています。

さっぽろこども環境コンテスト (http://www.city.sapporo.jp/kankyo/kankyo_kyoiku/contest/)

小中学生を対象にした、環境活動コンテスト「さっぽろこども環境コンテスト2011」を、11月26日(土)に札幌エルプラザで開催します。今年度は4回目の開催となります。

[審査員]

審査員長	北海道大学大学院教育学研究院 教授	大野 栄三 氏
審査員	北海道札幌新川高等学校 校長	大川 徹 氏
審査員	札幌市環境教育基本方針推進委員会委員	丸山 博子 氏
審査員	札幌市環境局環境都市推進部長	宮佐 直紀

[発表団体]

小学生の部 5団体・中学生の部 5団体(計 10団体)を予定しています。